

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	joyとびっこくらぶ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 12日		2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容の充実	・導入をわかりやすく楽しくすることで、意欲に繋げている。 ・年間を通してあえて同じ活動を数回設定することで、子どもたち自身が成長を感じられるようにしている。	・外部研修により、新たな保育を画策する。
2	・保護者支援	・設定された面談だけでなく、日々の連絡帳や送迎を通して、子どもの発達を共有している。 ・保護者懇親会や勉強会を通じて、保護者が安心できる機会を設定している。	・職員が、保護者支援に関する研修を受けることで、専門性をより高める。
3	・法人内の児童発達支援センター(joyひこばえ)	・合同の勉強会等を通じて連携をとり、情報を共有することができる。	・交換研修として、児童発達支援センターの保育を通じて、より専門性を高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育参観を実施していない	・スペースが狭いために、保護者と子どもが一緒に安心して過ごすことが難しい。	・実際の保育をより知っていただくために、室内に前月の活動の様子を掲示する。 ・適宜、動画を撮影して、送迎のときに見ていただく。 ・年度末にイヤーズブックを作成し、全員にお渡しする。
2	・個室がない	・一続きの空間を、収納を真ん中に置くことで2つに区切っているが、完全に分かれているわけではない。 ・痲痺やパニックになったときに、落ち着ける小さめの個室があると良い。	・パーティションや布で仕切る。 ・仕切りで不十分な時は改築を検討する。
3			